



## 店舗案内

本社：  
東京都中央区新川  
一丁目 21 番 2 号  
茅場町タワー  
TEL: 03-5541-9208

京都支店：  
京都市中京区烏丸通  
錦小路上手洗水町  
659 番地 烏丸中央ビル  
TEL: 075-222-1001

大阪支店：  
大阪市中央区南船場  
一丁目 18 番 17 号  
商工中金船場ビル  
TEL: 06-4705-6701

名古屋支店：  
名古屋市中村区名駅  
三丁目 22 番 8 号  
大東海ビル  
TEL: 052-564-0051

札幌支店：  
札幌市中央区  
北一条西二丁目 1 番地  
札幌時計台ビル  
TEL: 011-221-1375

越谷支店：  
埼玉県越谷市赤山本町  
2 番 14 号  
越谷駅西口 TR ビル  
TEL: 048-967-6011

宝塚支店：  
兵庫県宝塚市逆瀬川  
一丁目 1 番 1 号  
アピア2  
TEL: 0797-77-7751

## 直近の動向

1 月は月初に ADP 全米雇用報告が予想の約 3 倍となりドルが大幅上昇。月半ばに米大手金融機関の冴えない決算や予想を下回る米住宅着工件数などで下落するも直後に新規失業保険申請件数や中古住宅販売件数といった好指標で回復、その後もオバマ大統領の演説内容や日本の格下げ、エジプト情勢などでドル円は不安定な動きとなった。スペインと伊の国債入札が無難に通過した安心感や 13 日の ECB トリシェ総裁のインフレ警戒発言からユーロが上昇、その後も順調に水準を回復した。新興国通貨の動きはまちまちだったが、月末のエジプト情勢の緊迫化から安全資産が買われ、対円で下落した。

## ブラジル



19 日に政策金利を 11.25% に引上げ。消費者物価指数の伸び率が加速、インフレ抑制のため利上げ。利上げにより緩和政策を続ける先進国からブラジルへの資金流入が増加し、レアル高になることが懸念され、抑制のため追加対策がなされる可能性がある。今後、W 杯、オリンピックに向けたインフラ整備と財政削減が同時に必要であり、1 月に就任したルセフ新大統領には難しい舵取りが迫られる。

## 南アフリカ



20 日に政策金利を 5.50% で据え置き。景気回復はしているが緩慢で利上げには程遠い状況。金融緩和が長期化すればランドの重石に。金や原油価格の上昇に一服感が出ていることもランド下落の要因か。金融危機後に経済が予想を上回る回復力を示したことを理由にフィッチ・レーティングスが格付見通しをネガティブから安定的に引き上げた。エジプト情勢の影響が懸念されている。

## トルコ



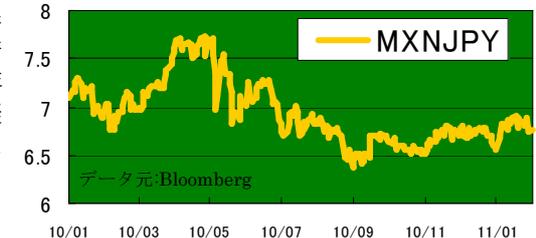
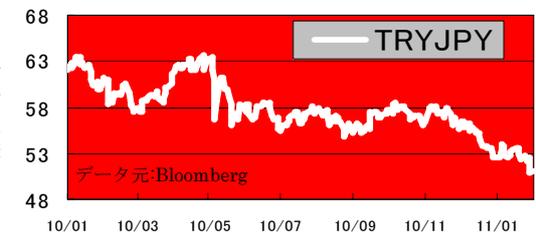
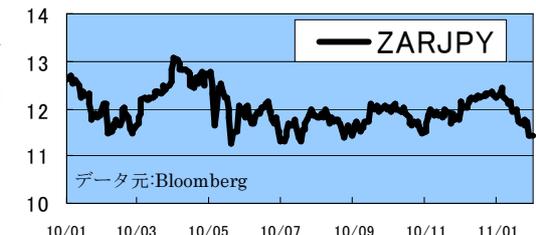
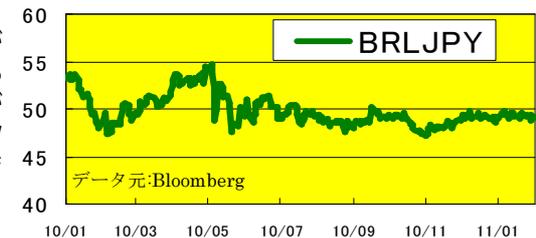
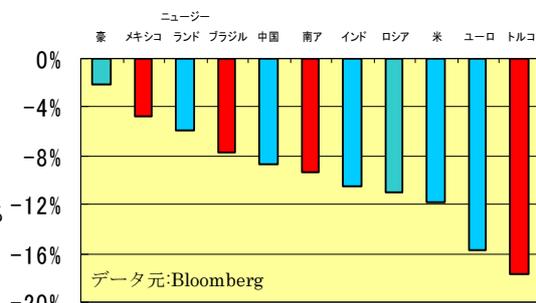
20 日に政策金利を 6.25% に引下げ。内需が旺盛で経済成長を続けているが、インフレ動向は落ち着いている。相対的に高い利回り水準であることで生じている他国からの資金流入を抑制し、経常赤字の悪化を防ぐために利下げした。景気過熱には預金準備率の引き上げによる引締めで対応していくようである。月末のエジプトの影響による地政学リスクの高まりからリラは対円で大きく下落した。

## メキシコ



21 日に政策金利を 4.50% に据え置き。国内経済活動の活発化に伴い、広範囲な景気回復の兆しが見られるが、インフレ動向は落ち着いている。今後は内需が加速することが予想されているが、11 年は米経済の鈍化によって輸出の伸びが鈍るともみられている。米経済に左右されない経済構造を築くためには内需のさらなる活性化と共に、税制や労働法などの構造改革が必要であるとされている。

## エマージング通貨の対円騰落率 10年1月1日～11年1月31日



## 為替レート見通し

対円 (JPY)	11/02	11/05	11/08	12/02
米ドル (USD)	82	84	85	85
ブラジルレアル (BRL)	49	50	52	53
南ア・ランド (ZAR)	11.4	11.5	11.7	11.9
トルコリラ (TRY)	51	52	53	53
メキシコペソ (MXN)	6.76	6.92	7.04	7.16



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした 2011 年 2 月 1 日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。